

製品特性

- 1** 本剤は、アナグリプチン (DPP-4阻害薬) とメトホルミン塩酸塩 (BG薬) の配合錠であり、各単剤による併用療法よりも服薬錠数が減ることから、服薬アドヒアランスの向上が期待できます¹⁾。
- 2** アナグリプチン100mgに加え、メトホルミン塩酸塩250mgを含有するメトアナ配合錠LDとアナグリプチン100mgとメトホルミン塩酸塩500mgを含有するメトアナ配合錠HDの2規格があります。
- 3** アナグリプチン単剤による治療で効果不十分な2型糖尿病患者において、メトホルミンの用量に依存する血糖コントロール改善作用を示しました。(14~18頁)
- 4** メトホルミン塩酸塩単剤による治療で効果不十分な2型糖尿病患者において、血糖コントロール改善作用を示しました。(19~28頁)
- 5** 国内で実施された臨床試験において、アナグリプチン及びメトホルミン塩酸塩併用症例267例中14例 (5.2%) に臨床検査値異常を含む副作用が認められました。主な副作用は下痢3例 (1.1%)、腹部不快感2例 (0.7%)、便秘2例 (0.7%)、血中乳酸増加2例 (0.7%) 等でした。[承認時]
なお、重大な副作用として乳酸アシドーシス、低血糖、腸閉塞、急性膵炎、類天疱瘡、肝機能障害、黄疸、横紋筋融解症があらわれることがあります。